



大阪プロバスクラブ

会報 第389号

2024年2月14日発行

Monthly Bulletin of

The Probus Club of Osaka

例会会場：ホテルモントレ大阪 06-6458-7111

例会日：2022年7月より毎月第2水曜日 12時～14時

○創立2001（平成13）年7月9日創立記念式7月16日

○スポンサークラブ：箕面千里中央ロータリークラブ

○友好クラブ：箕面ロータリークラブ

○会長：山下恵司 ○幹事：川端崇且 Tel：090-2702-7212

○事務局：（幹事宅）〒562-0044 箕面市半町2-5-23

○会報担当：西宮富夫 pxi06603@nifty.com

○大阪プロバスクラブ会報：<http://osakapurob.exblog.jp/>

○全日本プロバス協議会：<https://www.all-japan-probus.com/>

（R4年11月の第10回総会で決定された新体制）

会長 田中信昭、幹事長 一瀬 明、会計 飯田富美子

○日本のプロバスクラブ・関西 Blog 版：

<http://probuscent.exblog.jp/>

R6年1月初旬～R6年2月初旬までの更新分（順不同）

クラブ	会報	記事一部
旭川	会報第222号	年次総会（次年度役員・理事・委員長の議決）、忘年会、ハッピーボックス、他
東京八王子	プロバスだより第338号	臨時総会、卓話「版画について」野口浩平、同好会報告「古典芸能鑑賞会」内山雅之、「宇宙と縄文」研修委員会池田ときえ、他
東京多摩	会報第110号	卓話「映像で観る笹子人形芝居」小林務会長、寄稿①「多摩の秋を歩く」登坂征一郎会員、寄稿②「今年の干支『辰』にちなみ」坂東熙子会友、他
神戸北	2月例会案内	6年1月11日「5分間スピーチ」、「ひとこと」渡辺茂会員、他
大阪	会報第388号	ショータイム演奏曲「オブリビオン（忘却）」について、「ヘミングウェイの老人と海のモデルと話した」浅山会員ゲスト藤川貴史氏、他
北九州	月報つながり第211号	12月例会卓話「実は北九州市は漫画王国なんです」北九州市漫画ミュージアム館長田中時彦氏、ミニ随筆「囲碁三昧」神田澄男会員、他
奈良	会報第115号、116号	115号：10周年企画「山中温泉一泊カニツアーの旅」藤田久子、他、116号：「奈良の鹿にドングリを！」のご報告川島明美、他

●『春よ来い』作詞相馬御風 作曲広田龍太郎

春よ来い 早く来い

あるきはじめた みいちゃんが

赤い鼻緒（はなお）の じょじょはいて

おんもへ出たいと 待っている

前回 第389回 新年例会 2024年1月17日（水）

会場：ホテルモントレ大阪 12：00～14：00

◎新年例会：司会進行・伊丹谷五郎会員

○ソング：吉川栄子会員 ●『たきび』

○山下会長挨拶：正月に能登半島地震、飛行機事故があり、その後葬式がありました。さらにその後税務調査があり、例年になくバタバタした正月でした、とのこと。

○幹事報告：2月例会卓話はゲストスピーカーにお願いしました。プログラム委員会確認済、例会後理事会開催。

○誕生月会員：後列左から川端崇且会員12月、西田隆昭会員1月、山下恵司会員12月、前列永田慎一会員12月



○出席報告：担当委員長より会員12名出席との報告。

○OH-BOX：担当委員長より5名18,000円との報告。

★山下恵司会員：新年宜しく。

★川端崇且会員：あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。大阪プロバスクラブがより一層賑やかになるよう進めたいと思います。

★伊丹谷五郎会員：新年明けましておめでとうございます。石川県大震災！一日も早い復興復旧を願うばかりです。

★笠松幸一会員：おめでとうございます。

★野村尚子会員：あけましておめでとうございます。今年も宜しくお願い致します。

○食事タイム 乾杯：川端崇且会員

★ワイン名：ジェ・ジェ・モルチェ サンテミリオン J.J.Mortier Saint-Emilion 2016



（ワインラベル）



（生産地サンテミリオン）

今回 第390回 通常例会 2024年2月14日（水）

会場：ホテルモントレ大阪 12：00～14：00

●大阪プロバスの歌（作詞：渡辺 孟 補詩：田村徳郎）

- | | |
|----------------|--------------|
| ① プロバスクラブへ集まろう | 気の合う仲間とお昼時 |
| 元気に歌おう会の歌 | 第二の人生また楽し |
| ② プロバスクラブに集まって | 優しく気軽に話そうよ |
| 見せたい自慢の得意技 | 遊びのプランもまた楽し |
| ③ プロバスクラブに集まれば | 高まる奉仕の心意気 |
| 世界に広がる和の願い | 明日も愉快地に生き抜こう |

★生産者：ジェ・ジェ・モルチェ社（ネゴシアン）

（以下引用元：ポルドー・シャトーとのコラボを進める J.J. モルチェ社より）

1889 年創業・ポルドー名門ネゴシアン J.J. モルチェ社は J.J. モルチェのブランド名を冠した地区名ほかのワイン（中略）等を取り扱い、フランス国内のほか世界 45 か国の市場へワインを販売している。1989 年に明治屋が買収し、明治屋グループの一員として活動している。

★生産地：世界遺産サンテミリオン地区

（以下引用元及び生産地画像：サンテミリオン・フランス世界遺産 阪急交通社より）

ポルドーワインの主要産地として名高いフランス南西部のサンテミリオンは（中略）古代ローマ帝国の時代には、すでにぶどうが栽培されていたといわれ、（中略）また、サンティアゴ・デ・コンポステーラへの巡礼路（世界遺産）の途上にあつたことから、立ち寄った巡礼者によって、このワインの評判が各地に伝わり、サンテミリオンは銘醸地として知られていきました。

◎出席会員近況報告（司会者指名順 3 分スピーチ）

（会報担当より；以下、近況報告の一部を掲載した。特に映像化しやすい 3 つを会報記事にした。）

会員名	近況報告一部
吉川栄子	年末は庭の砂利を洗ったり、おせちを作ったりしましたが、倒れずに家の仕事が出来た。うれしかった。他
野村尚子	29 日から 3 日まで孫が来ていたが大変だった。他
西田隆昭	1 月 28 日で 91 才。現在も車にも乗っているが、30 年ほど無事故無違反を続けている。年末はパーティの連続だった。他
西宮富夫	食べられるものが減った。夜、腹が減ると干し柿、銀杏等食べているがなにやら縄文人の生活のようです。 （続：近況①）
川端崇且	昨年 12 月で 80 才。最近免許返納しました。他
笠松幸一	今年 68 才。初孫が出来ました。2 月四国遍路を考えていましたが、足が痛くて中止。今年の山登り計画を作ってます。他
山下恵司	昨年 12 月で 75 歳。後期高齢者になった。会社に行っているが何かとやることもあり、結構役立っているようです。他
田中浩三	六甲など低い山登りをしている。孫を連れて山登りした。嫌われたらしい。最近車で長距離旅行した。他 （続：近況②）
伊丹谷五郎	今年 80 才。仕事は娘に引き継ぎたい。12 月にパリに行ってきたが、交換所で日本円を変えられない状態。他 （続：近況③）
吉田州伸	今年 88 才。昨年心臓手術をしたが脳梗塞になり、リハビリ生活をした。今日はなんとか地下鉄で来たが中央郵便局跡にもビルが建ち、景色も変わった。他
永田慎一	今年 86 才。風邪をひき、こじらせましたが、今日はなんとかギリギリ例会に参加できました。他
浅山紀久子	今 81 才 4 カ月。人の年齢は生まれてからの年齢に 1 年プラス（母のおなかの期間）するのが合理的です。他

◎近況①「私の生活の基本形は縄文人と同じ」（西宮富夫会員）

最近、私は肉系や魚系のヘビーなものが食べられないため、特に夜など腹が減ると干し柿、銀杏等食べていますが、なにやら縄文人の生活のように思う時があります。私は日本家屋に住んでいますがこれは縄文時代に始まる竪穴式住居が発展したものの。なので、今の私の生活の基本形は縄文時代と同じと想像するこの頃です。

★縄文人の生活

（以下、文・画像とも名古屋刀剣ワールド縄文時代より引用）
旧石器時代、人々は各地を移動しながら狩猟生活を営んでいました。しかし、縄文時代の早期頃からは（中略）一定の土地に定住する生活様式が浸透。（中略）住まいは竪穴式住居が一般的。竪穴式住居は、まず地面を円形もしくは方形に掘って周りに土留材をめぐらせ、そこに柱を立ててから棟木や梁、垂木などで骨組みを作製。次に、屋根材として葦や木皮を葺く。床面積はおおむね 20 m²ほどの大きさで、入口はひとつ。



○縄文人の食糧調達

- ・春：（縄文人の）春の主食は山菜。野山に入ってワラビやゼンマイ、フキ、タラの芽などを採集し、日々の食料としていました。（中略）食べられる山菜が多かった理由はあく抜きの技術がすでに確立されていたため。
- ・夏：夏は漁労の最盛期です。特に縄文人が好んで食べたのは、マダイやクロダイ、ズズキなど。夏は非常に漁がしやすい環境が揃っていたのです。（中略）
- ・秋：秋になると木の実採集がはじまります。（中略）木の実の量は当時数少ない保存が利く食料のため、縄文人にとっては冬を越すために木の実採集の成果は死活問題でもあったのです。

○竪穴住居の構造

（画像引用元：第 4 講縄文時代のポイントを簡単解説）



出典 株式会社アセットフォー

◎近況②「箱根・伊豆長岡・熱海へ行ってきた」(田中浩三会員)

最近は六甲など低い山を登ることが多くなりました。孫を連れて山登りしたが無理をさせたらしくどうも嫌われたらしい。私は車の運転が好きで、最近箱根仙石原、伊豆長岡温泉、熱海へ行ってきました。

<箱根仙石原・伊豆長岡・熱海位置>



(GoogleMap より作成)

★箱根仙石原

(以下、箱根仙石原観光協会箱根仙石原 navi より)

仙石原の地名のいわれは、江戸時代の始めに入植した4軒の農家が、「耕せば千石の米がとれる広い草原」という意味を込めて、この地を千石原と名づけたものが変化したものだと伝えられています。(中略) かながわの景勝50選に選ばれたススキ草原があります。



仙石原すずき草原 (画像引用元: GoogleMap より)

★伊豆長岡温泉

写真中央右の源氏山の東西に旅館が集まる (文・画像とも引用元: Wikipedia)



(伊豆長岡温泉は) 伊豆半島の付け根にあたり、伊豆の玄関口に位置する。源氏山を挟んで東側の「古奈地区」と西側の「長岡地区」から構成される。(中略) 古奈温泉は古くは田畑の中に位置しており、西暦720年頃に発見されたとされる。源頼朝が挙兵の際や、湯治目的で度々入浴したとされた逸話が残る。(中略) 一方で長岡側の開発は大正時代以降で、(中略) バブル経済も相まって、旧街道沿いに温泉街が急速に形成された。

★熱海温泉 (画像引用元: GoogleMap より)



熱海は歴史的にも古い温泉であり、およそ1500年前の24代仁賢天皇の時代、海中から熱湯が噴き出し、魚が爛(ただ)れ死ぬのを近郷の者が発見、以来「熱い海」であることから、熱海と名付けられたとされる。(中略) 江戸時代初期の1604年徳川家康が7日間湯治で逗留した記録がある。(中略) 明治以降は文人墨客が多く訪れ、また多くの作品がこの地を舞台に描かれた。最も代表的な作品は、尾崎紅葉の『金色夜叉』であり、この作品によって熱海の名は全国的に知られることとなった。

◎近況③「12月パリに行ってきた」伊丹谷五郎会員

今年80才。仕事は娘に引き継ぎたい。12月にパリに行ってきた。安藤忠雄が設計改装した美術館(ブルス・ドゥ・コムルス Bourse de commerce de Paris、元穀物取引場)を見るために行った。円安で日本人が来ないため、交換所では日本円を変えられない状態だった。ホテルはルーブルの隣の「ホテルレジネールルーブル」に泊った。

(会報担当より: 伊丹谷会員が泊った辺りはパリ1区でルーヴル宮殿、パレ・ロワイヤル、チュイルリー公園(元宮殿跡)など世界的に著名な施設が立ち並んでいる。せっかくの機会であるので、個別に紹介したいが、ページの関係で、パリ1区について少しまとめる程度にとどめた。)

★BOURSE DE COMMERCE (元穀物取引場) 内部は美術館

(画像引用元: ブルス・ドゥ・コムルスー ピノー・コレクション)



(以下、文はパリの新アートスポット「ブルス ドゥ コメルス」とは?より引用)

ルーブル美術館にオルセー美術館。誰もが知る美術館のあるパリの街に2021年5月新たなアートスポット「ブルス・ドゥ・コメルス (BOURSE DE COMMERCE)」が誕生。同施設は、ケリング (KERING) の創業者であるフランソワピノーによる現代美術館で、彼が1960年以降長きに渡り収集した約3,500点 (中略) のプライベートコレクションから選りすぐりの作品が展示されている。

★BOURSE DE COMMERCE (元穀物取引場) 外観

(以下、文は Pinault Collection パリの新しい美術館によるこそより引用) (画像はパリ1区 Wikipedia より引用)

1812年に冠された金属フレームのガラスドームは壮麗で、この規模のものとしては世界初めてのものでした。1889年の万博に際し再構成され、エッフェル塔と並んで万博の代表的建築となり、現在の「ブルス・ド・コメルス」の姿になりました。(中略) 建物の空間は日本人建築家、安藤忠雄氏の手によって再考され、(中略) 円形の中心へのもう一つの円形を挿入する選択となりました。



★ホテル レジーナ ルーブル Hotel Regina Louvre

(画像: GoogleMap ホテルレジーナルーブルより引用)

(文: HIS レジーナ Rejina より引用)

パレ・ロワイヤル地区に位置し、ルーブル美術館とチュイルリー公園の向かいのリヴォリ通り沿いのホテル。1900年の万国博覧会に合わせ建てられた。ホテルの名称は、フランスとイギリスの親睦のためにヴィクトリア女王に敬意を表して命名されたとのこと (レジーナは女王の意味)。5つ星ホテル。



★パリ1区 (以下、文・画像とも Wikipedia)



フランスの首都パリ市は20の行政区に分けられている。行政区は1区から時計回りに番号がふられている。

パリ1区は市のほぼ中央にある行政区。「ルーヴル区」と呼ばれることもある。東西に細長いほぼ長方形の形をしており、南側はセーヌ川に面している。

○パリ1区の有名施設 (一部)



パリ1区にはルーヴル美術館 (ルーヴル宮殿)、チュイルリー公園、パレ・ロワイヤルなど世界的に有名な施設が数多く存在している (上記に▲で表示)。セーヌ川に沿った地域は「パリのセーヌ河岸」として世界遺産に登録されている。

○パレ・ロワイヤル (Wikipedia より)



パレ・ロワイヤル Palais-Royal はパリ1区にある歴史的建造物。(中略) 1643年に当時5歳のルイ14世がルーヴル宮殿から移り住んだことで、パレ・ロワイヤル (王宮) と呼ばれるようになった。

○ルーヴル美術館 (Wikipedia より)



ルーヴル美術館 (Musée du Louvre) は、パリにあるフランスの国立美術館。世界でもっとも入場者数の多い美術館で、(中略) 2018年は初めて1,000万人を超えた。

以上

次回 第391回 通常例会 2024年3月13日 (水)
会場: ホテルモントレ大阪 12:00~14:00